



魅惑の黒曜石



20年前から北海道の縄文PRに力を注いでいる、縄文沼の女神様



縄文とカエルをこよなく愛し、オリジナルグッズ販売やイベント主催など大活躍



某研究室の片隅で縄文の魅力を発信中じわじわ縄文ファンを増殖させている



北海道エリアの遺物に興味津々グッズにできそうな遺物を探している

今回の妄想トークのメンバー

ついに中空土偶「カックウ」に続いて、北海道に2つ目の国宝が誕生したね！しかも旧石器時代の国宝は国内初よ！

遠軽町白滝地区の黒曜石!!

おめでとう～!! パチパチパチ

今回は、縄文人にとっても大切な存在だった魅惑の黒曜石について語っていくわよ！

「石好き」な私は、河原で黒曜石を見つけるのが得意なの。溶岩が固まってできた黒曜石はもともと黒く光って鋭い形。それが川で流されて転がるうちに角が取れて丸い形になるの。外側は削れて白っぽくなっているけれど、割ると黒くてキラキラ。私にとっても特別な石だから、見つけたらかなりテンションが上がるわ。

現代人も虜にしちゃう黒曜石、旧石器人や縄文人にとってはどんな存在だったんだろう？

道具としては最高だよ。加工がしやすく、ガラス質だから割れば切れ味抜群。ナイフにしたり、ヤリや矢の先につけたり。時代によっても異なるけどいろいろな道具に使われたようね。

用途に合わせて、尖らせたり、まるくしたり…いくら加工しやすいといっても、当時の加工技術も知恵もすごいよね。

それに、見た目もキレイ！見えない力に守られているような気持ちになるわ。

黒曜石は「オブシディアン」とも呼ばれていて、良くないものを遠ざけて身を守るパワーストーンとされているそうね。日本だけでなく世界でも古代から特別な石だったみたい。

へー！世界の人々も虜にする黒曜石ってすごい！世界の黒曜石もみてみたいなあ。

ねえねえ、なんだか不思議な形の石器（異形石器）ってあるじゃない？これは何に使ったんだと思う？（p2）



そりゃあ見せびらかすためじゃない？「こんな複雑な形の作っちゃったよ～」ってみんなに自慢してたりして。

普通の石器より細かいギザギザや切れ込みが入っていたりして、作るの難しそうだよ。

石器づくりの師匠が「これを作るようになったら一人前だ」とか言って弟子にチャレンジさせていたのかも。

いろいろな技術がギュッと詰まった不思議な形の石器。確かにこれは自慢したくなるわ。

石器づくりの技術を競う「異形石器コンテスト」とかあったらおもしろいよね(笑)

技術力と言えば、出土している石器を見比べてみると、旧石器時代より縄文時代の方が、素人目にもちょっと下手な感じしない？古い時代のほうが上手って、なんか不思議だよな。

旧石器人は道具と言えば石器だから石器づくりだけにひたすら集中できたけど、縄文人は土器や骨角器や土偶も作らないといけないし、石器作りに割く時間が足りなかったとか？

もう石器作るの飽きたとか？（笑）

縄文時代のなかでも、中期は特にざっくりしてる気がするし、後期になると今度はトンガリがすごいわね。謎のこだわり！並べて比べてみるとおもしろいね。（p2）

国宝で話題の白滝の黒曜石。出土したおよそ700万点の黒曜石のうち、99%はカケラで、石器の形になっているのはわずか1%だけなんだって。

原石が豊富なこの場所に石器を作りに来たんだから、完成品は持っていっちゃうよね。だから石器を作る時に出たたくさんのカケラが残されているってことなんだね。

カケラと言えば、「接合資料」って知ってる？（p3）

なにそれ、聞きなれない言葉！

出土した大量のカケラをジグゾーパズルのように一つずつくっつけて元の原石の形に戻したもんなんだけど、

真ん中にできる空洞部分が、完成した石器の形になっているのよね。

ギャー！なんという作業！立体のジグゾーパズル。しかもピースが全部そろっているわけではないし、他の原石のカケラも混ぜられているし、全部黒い…絶対無理！そもそも、よく復元しようと思ったわよね…。

学芸員さんの指導のもと、地元の主婦の方々が中心となってコツコツ作業してきたんですって。20年間で延べ7万人もの人が関わったらしいわ。

気が遠くなりそう…その方々こそが「国宝」だよな！

ほんとだね～。

この接合資料のおかげで、石器づくりについていろいろわかったことも多いみたいね。当時の人々がどれくらい大ききの原石から何を作ったのか、どういう順番で割ったとか、どんな技法を使って作っていったのかとか。

失敗作もずいぶん落ちていたらしいよ。白滝は膨大な量の黒曜石があるから、ちょっと失敗したらすぐあきらめて新しい石でやり直したのかな。

なんて贅沢な使い方…

技術が高い人ほど、ちょっと失敗しても上手にリカバリーできるんだって。失敗作があるってことは、それを作った人の石器づくりの腕はまだまだだったのかもね…ウフフ

って、何千年も後に現代人に言われるの切ない！（笑）

今回もいろいろ妄想がふくらんだわね。私たちも縄文人も、この黒いキラキラした石に不思議な魅力を感じて、特別な思いをもつのも似ているね。

白滝に行って、実際に石器づくりをやってみたいな～。

いいね！上手に作ってお守りにしたい！

川で石拾いも楽しいよ！（笑）

（次回につづく）

★【縄文女子の妄想トーク】は、縄文をこよなく愛する縄文女子たちの個人の主観に基づく妄想トークがメインになっています。学術的に正しいかどうかは置いておいて、素人目線の「こうだったのかな」「こうだったらいいな」という妄想ワールドを、どうか生暖かい目で楽しんでいただけたら嬉しいです。